



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月8日

上場会社名 大日本塗料株式会社  
 コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6266-3102

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	50,225	7.5	2,606	41.5	2,734	22.4	1,670	40.8
2021年3月期第3四半期	46,742		1,841	57.9	2,234	51.2	1,186	58.1

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,458百万円 (18.1%) 2021年3月期第3四半期 1,235百万円 (56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	58.98	58.53
2021年3月期第3四半期	41.93	41.58

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29条 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期第3四半期に係る各数値については、売上高のみ当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、売上高に係る2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	87,029	51,568	56.0	1,720.31
2021年3月期	85,765	50,865	56.0	1,698.23

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 48,736百万円 2021年3月期 48,069百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		25.00	25.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,700	5.6	3,200	13.1	3,300	1.0	2,000	1.6	70.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29条 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る各数値については、売上高のみ当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。対通期増減率を記載しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	29,710,678 株	2021年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,380,847 株	2021年3月期	1,405,329 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	28,320,032 株	2021年3月期3Q	28,302,368 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(収益認識関係) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、遡及処理後の数値で比較分析を行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の業種で持ち直しの動きがみられるなど緩やかな回復基調にありますが、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の流行等により、依然として厳しい状況にあります。先行きにつきましても、社会経済活動を継続していく中で景気の回復が期待される一方、感染症の流行や原材料価格の高騰、半導体不足による景気への影響等が懸念され、不透明な状況が続くことが見込まれます。

当社グループの経営成績については、売上高は、国内塗料事業を中心に需要が回復し、502億2千5百万円（前年同四半期比 7.5%増）となりました。利益面では、原材料価格の高騰による影響が生じておりますが、売上高の増加により、営業利益は26億6百万円（同 7億6千4百万円増）、経常利益は27億3千4百万円（同 5億円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億7千万円（同 4億8千3百万円増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### [国内塗料事業]

構造物分野では、機能性新製品の拡販や新市場の展開への取組みが奏功し、売上高は前年同四半期を上回りました。工業分野では、足元では世界的な半導体不足の影響を受けておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の落ち込みから緩やかに回復し、売上高は前年同四半期を上回りました。利益面では、原材料価格の高騰による影響が強まっておりますが、売上高の増加により前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は374億4千5百万円（前年同四半期比 5.7%増）、営業利益は16億9千6百万円（同 6億2千7百万円増）となりました。

#### [海外塗料事業]

東南アジア市場においては、自動車部品分野の販売が増加し、売上高は前年同四半期を上回りました。中国市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響による全般的な需要の落ち込みから緩やかに回復し、売上高は前年同四半期を上回りました。北中米市場においては、自動車部品分野の販売が増加し、売上高は前年同四半期を上回りました。当セグメント全体としましては、世界的な半導体不足の影響により足元では各地域における自動車生産台数が落ち込んでいるものの、売上高は前年同四半期を上回り、これに伴い利益につきましても前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は51億3千2百万円（前年同四半期比 37.4%増）、営業利益は2億5千9百万円（同 1億5千1百万円増）となりました。

#### [照明機器事業]

業務用LED照明分野では、首都圏以外の地域では需要回復の兆しが見え、UV照明分野では、引き続き紫外線除菌新製品の販売に注力したことで、売上高は前年同四半期を上回りました。利益面では、売上高の増加に伴い、前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は55億8千2百万円（前年同四半期比 8.0%増）、営業利益は3億6千3百万円（同 1億1千9百万円増）となりました。

#### [蛍光色材事業]

顔料分野では、海外市場において新型コロナウイルス感染症の影響による需要の落ち込みから緩やかに回復し、売上高は前年同四半期を上回りました。利益面では、国内市場における高付加価値品の需要減少に加え、原材料価格の高騰による影響を受け、前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は9億1千2百万円（前年同四半期比 12.7%増）、営業利益は3千1百万円（同 1千5百万円減）となりました。

#### [その他事業]

売上高は11億5千3百万円（前年同四半期比 28.3%減）、営業利益は1億7百万円（同 1億2千万円減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は870億2千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億6千3百万円の増加となりました。流動資産は344億4千4百万円で前連結会計年度末と比較して13億7千万円の増加となりましたが、これは現金及び預金の減少9億2千万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加9億8千2百万円、棚卸資産の増加14億1百万円が主因であります。固定資産は525億8千5百万円で前連結会計年度末と比較して1億6百万円の減少となりましたが、これは有形固定資産の減少4億7千3百万円、投資その他の資産の増加3億9千9百万円が主因であります。

負債は354億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億6千万円の増加となりました。流動負債は252億1千6百万円で前連結会計年度末と比較して7億9千4百万円の増加となりましたが、これは支払手形及び買掛金の増加23億3千9百万円、短期借入金の減少14億5千万円が主因であります。固定負債は102億4千4百万円で前連結会計年度末と比較して2億3千3百万円の減少となりましたが、これは長期借入金の減少3億円、リース債務の減少1億4千7百万円、繰延税金負債の増加2億1千5百万円が主因であります。

純資産は515億6千8百万円で前連結会計年度末と比較して7億3百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加9億5千5百万円、為替換算調整勘定の増加2億4千9百万円、退職給付に係る調整累計額の減少6億7百万円が主因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年11月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,983	6,062
受取手形、売掛金及び契約資産	15,739	16,721
商品及び製品	5,311	5,733
仕掛品	691	822
原材料及び貯蔵品	2,928	3,776
その他	1,448	1,354
貸倒引当金	△27	△27
流動資産合計	33,073	34,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,938	22,169
減価償却累計額	△13,985	△14,270
建物及び構築物(純額)	6,952	7,899
機械装置及び運搬具	22,892	23,281
減価償却累計額	△19,588	△19,702
機械装置及び運搬具(純額)	3,304	3,579
土地	11,512	11,494
リース資産	1,936	1,999
減価償却累計額	△811	△1,029
リース資産(純額)	1,125	970
建設仮勘定	1,444	62
その他	6,742	6,777
減価償却累計額	△5,205	△5,380
その他(純額)	1,537	1,396
有形固定資産合計	25,877	25,403
無形固定資産		
リース資産	156	134
その他	268	258
無形固定資産合計	424	392
投資その他の資産		
投資有価証券	7,387	7,286
繰延税金資産	1,871	1,753
退職給付に係る資産	16,487	17,110
その他	710	707
貸倒引当金	△66	△68
投資その他の資産合計	26,389	26,788
固定資産合計	52,691	52,585
資産合計	85,765	87,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,583	16,922
短期借入金	4,100	2,650
リース債務	334	311
未払法人税等	282	222
役員賞与引当金	44	—
製品補償引当金	368	369
その他	4,709	4,741
流動負債合計	24,422	25,216
固定負債		
長期借入金	1,800	1,500
リース債務	1,219	1,071
繰延税金負債	5,137	5,352
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	932	954
環境対策引当金	8	8
その他	77	54
固定負債合計	10,478	10,244
負債合計	34,900	35,461
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	28,101	29,056
自己株式	△1,614	△1,586
株主資本合計	37,754	38,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,943	2,984
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	△407	△158
退職給付に係る調整累計額	5,896	5,289
その他の包括利益累計額合計	10,314	9,997
新株予約権	241	246
非支配株主持分	2,554	2,586
純資産合計	50,865	51,568
負債純資産合計	85,765	87,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	46,742	50,225
売上原価	32,711	35,292
売上総利益	14,030	14,932
販売費及び一般管理費	12,188	12,326
営業利益	1,841	2,606
営業外収益		
受取利息	17	13
受取配当金	177	185
雇用調整助成金	145	20
その他	251	241
営業外収益合計	592	460
営業外費用		
支払利息	54	51
支払補償費	17	83
製品補償引当金繰入額	0	103
その他	126	94
営業外費用合計	199	332
経常利益	2,234	2,734
特別利益		
固定資産売却益	88	105
投資有価証券売却益	0	82
その他	2	—
特別利益合計	91	188
特別損失		
固定資産処分損	55	94
減損損失	73	0
事業構造改善費用	138	—
その他	16	—
特別損失合計	284	95
税金等調整前四半期純利益	2,041	2,828
法人税、住民税及び事業税	309	408
法人税等調整額	502	583
法人税等合計	812	991
四半期純利益	1,229	1,836
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	166
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,186	1,670



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,229	1,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	835	41
為替換算調整勘定	△552	188
退職給付に係る調整額	△277	△607
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	6	△377
四半期包括利益	1,235	1,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,375	1,353
非支配株主に係る四半期包括利益	△139	105

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年6月29日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式24,502株の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が28百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,586百万円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)(以下「収益認識会計基準等」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

製品の輸送に対する対価として顧客から収受していた運賃収入について、従来は、運送業者に支払う額から顧客より受け取った運賃を差し引いた純額で認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社の役割が本人に該当する取引については、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識することとしております。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度について遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、「売上高」が514百万円増加し、「販売費及び一般管理費」が同額増加しており、前連結会計年度の連結貸借対照表は、「受取手形、売掛金及び契約資産」が96百万円増加し、「その他」が同額減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への売上高	35,420	3,734	5,167	809	45,131	1,610	46,742	—	46,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	594	0	1	54	650	1,635	2,285	△2,285	—
計	36,015	3,734	5,168	863	45,781	3,245	49,027	△2,285	46,742
セグメント利益	1,069	107	244	47	1,469	228	1,698	143	1,841

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額143百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は、「国内塗料」において73百万円であります。

なお、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への売上高	37,445	5,132	5,582	912	49,071	1,153	50,225	—	50,225
セグメント間の内部売上高又は振替高	782	—	43	65	891	1,804	2,695	△2,695	—
計	38,227	5,132	5,626	977	49,963	2,958	52,921	△2,695	50,225
セグメント利益	1,696	259	363	31	2,350	107	2,458	147	2,606

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額147百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、製品の輸送に対する対価として顧客から収受していた運賃収入について、従来は、運送業者に支払う額から顧客より受け取った運賃を差し引いた純額で認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社の役割が本人に該当する取引については、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識することとしております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高が、それぞれ「国内塗料」で558百万円、「蛍光色材」で3百万円増加しており、セグメント間の内部売上高又は振替高が、それぞれ「国内塗料」で25百万円、「蛍光色材」で1百万円増加しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成して開示しております。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、売上高を顧客の所在地を基礎とした国又は地域に分解しております。分解した地域別の売上高と報告セグメントとの関係は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計		
日本	35,198	—	5,093	724	41,016	1,610	42,627
アジア	140	3,192	9	36	3,378	—	3,378
米州	11	541	8	0	562	—	562
その他	70	—	55	48	173	—	173
顧客との契約から生じる 収益	35,420	3,734	5,167	809	45,131	1,610	46,742
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	35,420	3,734	5,167	809	45,131	1,610	46,742

(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計		
日本	37,213	—	5,535	811	43,560	1,153	44,714
アジア	96	4,387	14	28	4,527	—	4,527
米州	34	744	9	—	787	—	787
その他	101	—	22	72	196	—	196
顧客との契約から生じる 収益	37,445	5,132	5,582	912	49,071	1,153	50,225
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	37,445	5,132	5,582	912	49,071	1,153	50,225

(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。